

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】平成 18 年 3 月 30 日 (2006.3.30)

【公開番号】特開 2005-286445 (P2005-286445A)
【公開日】平成 17 年 10 月 13 日 (2005.10.13)
【年通号数】公開・登録公報 2005-040
【出願番号】特願 2004-94107 (P2004-94107)
【国際特許分類】

H 0 4 N 7/14 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 7/14

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 2 月 14 日 (2006.2.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

カメラと、

このカメラが撮像した撮像画像より作成した送信画像を外部の通信回線を介して送信する送信制御と、前記通信回線を介して送られてきた信号を受信するための受信制御を行う通信制御部と、

前記カメラが撮像した前記撮像画像の一部を切り出して前記送信画像を作成する処理を、前記通信回線を介して送られてきた制御信号に基づいて実行する切出し制御部と、を設けたことを特徴とする通信端末。

【請求項 2】

切出し制御部は、制御信号に基づいて撮像画像上の切り出し位置を変更するとともに、前記切り出し位置から前記撮像画像を所定領域切り取ることにより送信画像を作成することを特徴とする請求項 1 に記載の通信端末。

【請求項 3】

切出し制御部は、制御信号に応じて、撮像画像上の広い領域を取り込み、送信画像として送信するためにデータを圧縮する処理と、撮像画像上の狭い領域を取り込み前記送信画像として送信するためにデータを伸張する処理とを選択的にを行うことを特徴とする請求項 1 に記載の通信端末。

【請求項 4】

カメラと、

このカメラが撮像した撮像画像に基づいて作成した送信画像を外部の通信回線を介して送信する送信制御と、前記通信回線を介して送られてきた信号を受信するための受信制御を行う通信制御部と、

前記カメラが撮像した前記撮像画像から切り出した狭い領域の画像を前記送信画像としてメモリに書き込む切出し制御部と、を設けたことを特徴とする通信端末。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】通信端末

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

この発明は、相手先から画像を送信してもらって自身の画面に表示をする装置において、送信側に工夫をして受信側の意図に添って簡易に、かつ素早く画面表示を変更する通信端末に関するものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

この発明は上記の課題を解決するためになされたもので、機械機構を用いず、即応性を向上した、簡易な通信端末を得る。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

次に図 2、図 7 を用いて、相手端末カメラのパン（水平方向）制御動作について説明する。

図 2 において、カメラ部 2 の撮像領域 19 の内、相手端末に現在送信している送信画像領域 20 が左上部分にあることを先ず示している。また A を送信画像領域 20 の基準点とし、送信画像領域の x 方向の長さを L、y 方向の長さを M とする。メモリ 3 には送信画像領域 20 のデータのみ書き込む。つまり送信画像領域 20 は、撮像領域 19 より必ず小さい領域とする。

新しい送信画像領域 21 は、元の基準点 A を横方向の基準点 B にずらした画像領域である。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

相手端末が受信した DTMF 信号は、回線 I/F 17、多重分離制御部 16 から音声復号化部 10 に送られ、ここで復号化され、DTMF 信号検出部 9 にて相手端末の「*」ダイヤルボタンが押下されたことを検出する。

「*」ダイヤルボタンが押下された情報が切出し制御部 8 に伝わると、切出し制御部 8 は、送信画像領域 20 の切出し開始位置を A から D 方向に移動すると同時に、メモリ 3 に書き込むデータ量を制御する。ここで、1 回のダイヤルボタン押下による送信画像領域 20 の拡大幅を縦横 N 倍とすると、1 回のダイヤルボタン押下による A (x1, y1) と D (x4, y4) の関係は以下の (1) 式ようになる。

$$x_4 = x_1 - \frac{L(N-1)}{2}$$

$$y_4 = y_1 - \frac{M(N-1)}{2}$$

(1)